

TOKYO総合診療 シンポジウム



現在、日本の地域医療は深刻な人材不足や医療提供体制の逼迫といった課題に直面しており、国や自治体、医療機関には地域医療の再編が強く求められています。その中で注目されているのが「総合診療医」です。厚生労働省も総合診療医の必要性を訴える一方で、働く場の不足やキャリア形成の不透明さといった問題が存在します。

特に東京都は、全国でも突出して専門医が多く集まる地域ですが、病院やその他の専門医、患者から見ても総合診療医の価値や存在意義が見えにくい状況にあります。しかし、実際には、多様で複雑な医療ニーズに対応し、地域全体を俯瞰しながら患者を支える総合診療医は、都市部においても欠かすことができません。

本シンポジウムでは、こうした背景を踏まえ、医療機関と働く医師の新たな可能性となる「総合診療医」の価値を提言し、東京から、日本の地域医療を動かす持続可能なモデルを発信します。

講演内容 司会・モデレーター：内藤 俊夫

開会挨拶 尾崎 治夫 公益社団法人 東京都医師会 会長

応援メッセージ（ビデオ出演） 小池百合子 東京都知事

基調講演

- 日本の医療システムの変化、中小病院／総合診療医に期待される役割 香取 照幸 一般社団法人 未来研究所臥龍 代表理事

プレゼンテーション「総合診療医が活躍する多様なフィールドとキャリア」

- 市中急性期病院におけるホスピタリスト活躍の実例 安本 有佑 IMSグループ医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院 救急総合診療科診療部長

- コミュニティホスピタル経営再建と総合診療医の活躍 小笠原 雅彦 医療法人社団同善会 同善病院 副院長

- 大学における総合診療教育の実践と課題 石田 岳史 東京科学大学 茨城県北西部地域医療学講座教授

- 求められる病院改革 ― 総合診療医とともに描く新しい病院経営 大石 佳能子 株式会社メディヴァ 代表取締役社長

特別トークセッション「総合診療エコシステム構築への道：理想と現実解」

モデレーター：内藤 俊夫 順天堂大学医学部総合診療科学講座教授、順天堂大学医学部附属順天堂医院副院長

パネリスト：第1部登壇者

日時 2025年

10/25 (土)

13:30開場／途中参加・退出可

14:00-17:00

問い合わせ：info@cch-a.jp（開催事務局）

場所

順天堂大学7号館 13階有山登メモリアルホール

JR線／東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」(御茶ノ水口徒歩7分)

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」(B1出口徒歩9分)

対象

民間・公立公的病院経営者、自治体関係者、医療従事者
医学生、メディア、製薬・医療機器メーカー関係者など

参加費

無料

定員

250名

申込

右の2次元コードもしくは下記より申込

<https://x.gd/pH6oa>

締切 10/17 (金)

共催

順天堂大学医学部総合診療科学講座

一般社団法人コミュニティ&コミュニティホスピタル協会

地方独立行政法人 東京都立病院機構

